

仙台高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	保健体育Ⅱ
<b>科目基礎情報</b>				
科目番号	0016	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	名取キャンパス一般科目	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	最新高等保健体育(大修館)、アクティブスポーツ(大修館)			
担当教員	柴田 尚都,古内 孝明			
<b>到達目標</b>				
授業で扱われる柔道、球技、水泳等の基本技術を習得し、それらの運動種目を実践できる。 健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、計画的に運動をする習慣を身につける。 健康の増進と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身につける。				
<b>ルーブリック</b>				
活動	理想的な到達レベルの目安 全ての授業に参加し、積極的に活動をおこなう。	標準的な到達レベルの目安 授業に参加し、積極的に活動を行う。	未到達レベルの目安 積極的な授業参加を行わない。	
意欲・態度	授業のための準備、各種目の実施、諸注意等への配慮を自ら行うことができる。	授業のための準備、各種目の実施などを教員の指示によってできるようになる。	授業の準備、各種目の実施について、行うことができない。	
技能	各種目の技能を正確に実施することができ、クラスメイトに適切なアドバイスができる。	各種目の技能を理解し実施することができるとする。	各種目の技能を理解できず、実施できない。	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>				
<b>教育方法等</b>				
概要	健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、計画的に運動をする習慣を育てる。 健康の増進と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。			
授業の進め方・方法	年度始めは新体力テストを実施し自分の体力を知る。その後季節(気温の変化)に合わせ単元を代えて実施。 事前学習(予習) :毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を考えて整理しておくこと。 事後学習(復習) :毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。			
注意点	学校指定の運動着及び体育館シユーズを着用する。外用シユーズ、柔道着、水着は各自適したもの用意すること。身体的事情で長期見学をする場合は医師の診断書を提出すること。			
<b>授業計画</b>				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	保健体育オリエンテーション	
		2週	新体力テストを実施	
		3週	新体力テストを実施	
		4週	ソフトテニス	
		5週	ソフトテニス	
		6週	ソフトテニス	
		7週	ソフトテニス	
		8週	ソフトテニス	
	2ndQ	9週	ソフトテニス	
		10週	ソフトテニス	
		11週	水泳	
		12週	水泳	
		13週	水泳	
		14週	水泳	
		15週	水泳(スキルテスト)	
		16週	水泳(スキルテスト)	
後期	3rdQ	1週	柔道	
		2週	柔道	
		3週	柔道	
		4週	柔道	
		5週	柔道	
		6週	柔道	
		7週	柔道	
		8週	柔道	
	4thQ	9週	バレーボール	
		10週	バレーボール	
		11週	バレーボール	
		12週	バレーボール	
		13週	バレーボール	
		14週	バレーボール	
		15週	バレーボール	

	16週	バレーボール	試合が出来る	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	活動点（授業参加）	意欲	態度	技能 合計
総合評価割合	40	20	20	20 100
分野横断的能力	40	20	20	20 100
	0	0	0	0